



Primary Assist

プライマリー・アシスト

https://primary-assist.co.jp



プライマリー・アシスト株式会社 代表者●代表取締役社長 石山知良 設立●2015年
 資本金●8000万円 従業員数●188人 住所●東京都千代田区四番町4-19 CIRCLES市ヶ谷8F
 その他拠点●本社・東京支社:東京都千代田区四番町4-19 CIRCLES市ヶ谷8F
 関西支社:大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル7F
 ネットワーク・提携●業務提携先20社

連絡先 TEL●03-4226-3858 (本社・東京支社) 06-7174-8948 (関西支社)
 E-mail●hanki@primary-assist.co.jp

コンサルタント数 17人

専門チーム 産業保健事業部、産業医事業部、健康経営事業部、教育研修部

サービス 健康経営コンサルティング、クラウド健康管理システム、AI予防診断システム、
 オンライン特定保健指導、定額制健康管理支援、産業医療職人材サービス（紹介/派遣/業務委託）、健康経営優良法人認定の取得支援、健康イベントの企画立案・実施、「健康」啓発セミナー、健康経営セミナー、産業看護職向けセミナー

専門分野	
業種	対象者
メディカル	産業医
企業健康管理室	保健師
健康保険組合	看護師
企業内診療所	心理職
ヘルスケア事業	管理栄養士
医療サービス	健康管理職
人材サービス	医師
	看護師・保健師
職種	人材派遣
産業保健	紹介予定派遣
産業看護	
産業医	
健康管理システム	
健康イベント	
メンタルヘルス	
オンライン健康セミナー	

編集部 の 評価

産業医・保健師・看護師などの医療職を対象とする人材紹介・派遣に特化し専門性を高めている。また「健康経営」の実現に向けた従業員の健康に対する企業の取り組みがより一層求められる中、働く人々の心と身体のトータルケアを目指してメンタルヘルス領域の総合的なサービスを提供する。医療職紹介と心のケアサービスを一気通貫で支援する企業は人材会社でも異色の存在であり、人材確保と定着に悩んでいる企業にとって心強い存在だ。

責任者に聞く 強み 仕組み 方針

「健康経営の導入・実践と、産業医・保健師配置、健康経営優良法人取得を支援する専門社です」

健康経営は新たな局面へ

健康経営の普及促進は2015年にスタートし、働き方改革、新型コロナウイルス感染拡大などを経て、10年が経過しました。健康経営は、「企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる」として経営戦略として捉え、実践することを目的とし、さらに「人という資源を資本化し、企業が成長することで、社会の発展に寄与すること」を目指しており、新たなステージに入っていきます。

2023年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことに伴い、経営環境、企業活動も大きく変わりました。人流が復活し、働き方の多様化による労働環境の変化に伴い「心と身体の健康課題」も変化が起き始めました。健康日本21の第三次基本方針では、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」がうたわれており、企業においても従業員による健康格差を抑える取り組みが必要となりました。

「誰一人取り残さない健康づくり」 公衆衛生、産業保健が重要な時代へ

新型コロナウイルス感染拡大は、世界に公衆衛生、産業保健の重要性を知らしめることになりました。「健康経営の推進」はESG投資、SDGsにおける国の取り組みと

して位置付けられています。

健康経営は、従業員の健康管理・健康づくりの推進が単に医療費の削減という経費節減の側面のみならず、生産性向上、従業員の創造性向上、企業イメージ向上などの効果が得られ、かつ企業におけるリスクマネジメントとしても重要な考え方です。

少子高齢化により労働力の確保は全ての会社の命題ですが、若年労働者の確保は企業の永続発展には欠かせないテーマです。若年層ほど、働きがい職場を選ぶ傾向があり、ワークエンゲージメント（働きがい）を上げる取り組みへの関心度合いが高まっています。

そんな中、健康経営への取り組みをきっかけに、働く環境整備に着手する会社が急増しています。「誰一人取り残さない健康づくり」や「より実効性をもつ取組の推進」に取り組むためにも健康経営は企業ごとに

●健康経営優良法人に認定



石山 知良

代表取締役社長



上場企業のメーカー・商社、医療人材会社の執行役員を経て、「健康経営」の普及促進を目指して会社を設立。近年、産業保健関連の学会で登壇するなど、健康経営、産業保健、予防医療の普及を目指して活動。

形を変える時代となりました。

健康経営は大企業から中小企業へ

当社では健康経営銘柄、健康経営優良法人を取得する企業が取引先の90%以上を占めていますが、これからは中小企業への展開が不可欠となりました。会社の規模を問わず、健康課題は全ての企業において大きなテーマです。

健康経営の実現には「人」と「物（サービス）」の両輪が必要であり、当社はそのサービス創りに今後も挑戦し続けます。

2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門
ネクストブライツ1000

健康経営優良法人認定制度とは、健康増進の取り組みに優良な法人を顕彰する制度。プライマリー・アシストはその中における「ネクストブライツ1000」の認定を取得。健康経営優良法人を9年連続取得し、自らが健康経営に取り組み、普及活動に取り組んでいる